

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

推進校実施報告書

1 学校名：香川県立坂出高等学校

2 実施日時：2018（平成 30）年 9 月 9 日（日）9：00-14：00

3 対象：全校生徒および地域住民

（1 年生の HR 委員を中心としたオリパラ展の開催・運営）

4 実践形態：坂出高校文化祭におけるオリパラ展の開催

【展示】オリパラ新聞（生徒が夏休みの課題として実施した調べ学習の成果）

オリパラ展（ロンドンパラリンピックでの競技の写真パネル及び競技の説明ポスター）

【体験】シッティングバレーボール、ボッチャ

5 授業内容：体験活動

2018（平成 30）年 9 月 9 日（日）に行われた香川県立坂出高等学校の文化祭にて、1 年生 HR 委員を中心としたオリパラ展が開催されました。今回のオリパラ展の目的は「オリンピック・パラリンピック教育推進校である坂出高校の文化祭において、夏休み期間中にパラリンピックについて調べたことを発表したり、シッティングバレーの体験ができるように企画したりして、パラリンピックについて発信する」というものでした。

生徒たちは、文化祭での展示に向けて、①パラリンピックとは（歴史等）、②パラリンピックの競技種目（1 種目に着目、オリンピック種目との違い等）、③多様性の理解（様々な違いへの理解と共生社会について等）、④東京 2020 大会エンブレム・マスコットについて、⑤オリンピック・パラリンピックボランティア活動について、⑥大会会場について、という提示された 6 つのテーマから興味関心のある内容を選択し、新聞を作成しました。各生徒たちによって作成された新聞は、写真や図表および記事の割付が工夫され、丁寧に作成されていました。実際に新聞を作成した生徒たちからは、「オリンピックと比べてパラリンピックへの関心や認知が低いことに気づいた」や、「パラリンピックについて知らなかったことを知ることができてよかった」、「東京大会ではパラリンピックもみてみたい」等の感想が聞かれました。

パラリンピック種目の体験会では、当初から予定されていたシッティングバレーに加え、ボッチャのコーナーが設けられました。生徒たちは交代で体験コーナーの担当となり、来場者にルールを説明したり、ゲームの運営を行ったりしていました。ボッチャの体験コーナーでは、その競技特性から、小さな子どもたちが興味を持つことも多く、担当の生徒たちは保護者と一緒にゲームを楽しんでいました。また、通常のバレーボールとは異なり、座った状態でのプレイが要求されるシッティングバレーでも、白熱したプレイが多くみられました。実際に競技を体験した人たちからも「思ったより難しかったけど面白かった」や、「実際の競技もみてみたい」といった声が聞かれ、生徒たちが運営した体験会が、地域の人びとのパラリンピックについての興味関心を高めることにもつながっていたことが伺えました。

坂出高校の文化祭でのオリパラ展を担当された先生からは、調べ学習や準備などを行う前の段階では、生徒たちの間のモチベーションに差もみられたが、自分たちで調べていくうちに興味を持つようになった生徒が多か

ったこと、また、文化祭の展示や体験を通して、たくさんの人たちに興味関心をもってもらえたことが今後の取り組みにつながると思うなどの感想がありました。さらに、シッティングバレーについては、クラスごとにチームを作り、LHRの時間を活用して2学期に引き続き取り組んでいく予定であるということや、文化祭でのオリパラ展の開催については来年度も実施したいとの話がありました。

今回の文化祭でのオリパラ展の開催は、中心として活動した生徒たちのオリンピック・パラリンピックに関する興味関心を高めるだけでなく、教科横断的なオリンピック・パラリンピック教育の実践となっていました。さらに、ボッチャの用具は坂出市社会福祉協議会から、展示物として使用された写真パネルは日本障がい者スポーツ協会から借りたものであり、また、パラリンピック競技の説明ポスターは東京都八王子市国際スポーツ大会推進室から取り寄せたものであったということから、様々な機関や地域とのつながりを活かして、多くの人びとがオリンピック・パラリンピック教育に触れる機会にもなったオリンピック・パラリンピック教育の事例であったといえます。

## 6 展示・体験の様子



【ボッチャのルールを説明する様子】



【生徒が作成した新聞】



【ボッチャの運営の様子】



【シッティングバレーの様子】



【写真パネルの展示】



【パラ競技の紹介ポスターの展示】